

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第193回 例会

2017年8月2日 13:00

- 司 会：島村恵三 例会運営・司会委員
- 斉 唱：君が代 奉仕の理想
- 出席報告：出席者数 31名 / 会員数 41名
出席率 75.6%
前々回修正出席率 72.5% (29/40)
- ゲスト：米山奨学生 張宵宇 様
特別代表 浦野三男様
名誉会員 水野吉紹様
- ビジター：なし

ニコボックス

- 暑中お見舞申し上げます。暑さに負けずに頑張りましょう。(浦野三男特別代表)
- 暑い日々が続きますが頑張りましょう。(水野吉紹名誉会員)
- 本日クラブ戦略委員会のお願いとクラブ戦略とは？とのお話をさせていただきます。(安井忠クラブ戦略委員長)
- 今月お誕生日があるので寄付します。お盆の入り生まれなので特にめでたくもなく毎年お墓参りと迎え火の日です。(荒山久美さん)
- 誕生日祝い(綿貫達雄さん)
- みなさん暑中御見舞申し上げます。暑い日々が続きます。どうかお身体御自愛ください。感謝(櫻井孝充さん)
- 元気です(ボルジド)
ニコボックス合計 15,000円

会長挨拶

梅雨も明け、いよいよ8月に入りました。季節が変わり本格的な夏がやってきます。しかし、夏到来と言えども、毎日が晴れた日ばかりではありません。雨の日もあれば、台風の日もあります。私たちアイリスにも、実は色々なことが日々起きています。そのような中を浅学非才な私と幹事ですが、皆さんのおかげで、何とか7月を終え2ヵ月目に進むことができました。本当にありがとうございます。

今までは、外から見ていたアイリスロータリークラブで



した。正直言いますと自分の所属している委員会や役目以外は、あまり理解していなかったように思います。今回、会長の職責を担うにあたり、見えてい

なかったものが少しだけ見えるようになってきました。例会一つをとっても案内の発送に始まり、出席、ニコボックスなどの管理、ビジターさんのご案内、司会、各種の発表、時にはメーキャップデスクの設置と立会など、数限りない作業を会員の誰かが粛々と実行されておられます。皆、経営に携わるか、それに準ずる方々ばかりですので、多忙であり、時間がない中での作業です。ともすれば「なぜ自分だけが、こんな面倒くさいことをしなくてはいけないのか。もっと暇な人がいるのになぜ自分が...」と思う心を私は、責める事ができません。これまで、何気なく進んできたロータリアンとしての自分でしたが、人の苦労も知らず、本当に申し訳ないと反省するばかりです。

まさに私自身も、そうであったようにロータリーに対する思いが、人によって違いすぎるような気がします。これでは、力を合わせて前に進められるわけがありません。何故でしょうか？それには3つの問題点があるように思います。

1つ目は、アイリス特有の原因です。それは9割以上の会員がロータリーを知らない、もしくは知らなかったという点です。2つ目は、ロータリアンとして何をすれば良いのか、どこへ向かえば良いのかという点です。ゴールが分からなければ、力の入れ方も向かうべき方向も分かりません。3つ目は、誇りが持てない事です。価値観も分からず、向かうべき方向、ゴールも分からず、誇りを持てるはずがありません。これでは、今年度の方針である「共に活動し、共に奉仕し、共に頑張るアイリス」を実行する機会すら存在しなくなってしまいます。今年は、何とか共通の目標を作り上げ、共に頑張ろうと思える心を養い、次年度へ繋げられるように皆さんで頑張りましょう。

最近、そんなことばかり考えているのですが、そんな中で昨年8月後半に行われた「RLI会長エレクト研修」を思い出しました。その研修では、皆さんご存知の「4つのテスト」について、必ず質問されると櫻井前会長からお聞きし、少々ビビった私は、いろいろと文献を調べていました。そこで、とんでもないことを知ったのです。ベテランのロータリアンの方々には当たり前かもしれませんが、不勉強な私には、大きな驚きであり、感動でした。

まず、4つのテストを確認してみましょう。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか

驚く事に、この「4つのテスト」は、なんとロータリーで考えられたものではなかったのです。では、それがどうやってロータリーでの「4つのテスト」になったか、その由来をお話したいと思います。

1930年代、アメリカを襲った世界恐慌の中で、倒産寸前の従業員250名位のクラブ・アルミニウム製造という会社がありました。その会社の再建を委ねられたのがハーバート・テラーという人でした。

どうしたら、この会社を立て直すことができるか、テラーの苦しい日々が続きました。そして1932年7月のある日、神に祈り、4つのテストを思いついたのです。テラーは、この4つのテストに基づいて、会社のありかたを再検討してみました。すると如何に4つのテストの精神が、今までの会社のやり方と矛盾しているかに気づきました。例えば「真実かどうか」という点について、広告一つとってみても、4つのテストの精神からかけ離れていたのです。

約2ヶ月の間、4つのテストについて深く考え、やれるという自信を得たテラーは、社長として4つの部門の責任者をよんで、4つのテストについて説明し、意見を求めました。彼らは各々違う宗教を持っていたのですが、4人共4つのテスト、つまり真実(正しいこと)、公正、善意と友情、皆のために、などの精神は、彼らの信仰に合致するし、さらに会社のモラルを高め、ビジネスの成功、発展にもつながると考え賛成しました。やがて会社の全従業員は、4つのテストを暗記し、それをもとに行動するよう誓約を求められたのです。

そしてテラーは、全商品の誇大広告を禁止すると共に、製品の特徴や長所・短所も正直に述べる事にしました。その結果、一般の人々の信用を、より得る事ができたのです。また、競争相手の製品に対する中傷、攻撃は控えられ、相手方の信頼と友情をより得ることもできました。

こうして当初、銀行から6千ドルを借りて再建に着手した会社は、5年後には全額を返済し、10年後には押しも押されぬ一流企業に成長し、15年後には100万ドルの配当金を株主に支払う超一流の会社となったのです。

この「四つのテスト」はキリスト教勤労者財団を通して世界中に認められるようになりましたが、1942年「四つのテスト」を使う権利を国際ロータリーに与え、1954年テラーが国際ロータリーの会長になった時に、その著作権をロータリーに譲ったことで、使用権はキリスト教勤労者財団とクラブ・アルミニウム製品会社、そしてテラーにも保持されました。

テラーは、『この「四つのテスト」は、大恐慌の日々の中、わたしの事務所で、出来上がったものである。それは250余名の人々の職を確保し、破産した会社を救うにはどうしたらよいかと神に祈った結果生まれたものである』と言っております。しかし、「四つのテスト」はあらゆる時代の、あらゆる人々のためのものであり、今こそこれを必要とするときではないでしょうか。

神への祈りとその結果に裏打ちされた「4つのテスト」を教えてくれたロータリーに感謝し、本日の会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

引用文献

ロータリー研究「四つのテスト」は如何にして生まれたか
<http://www.narumi-clinic.jp/reportdata1/1048715068/index.html>

福岡北ロータリー・クラブ 四つのテスト
http://www.fnrc.jp/pdf/004/004_07.pdf

「四つのテスト」とビジネスの繁栄
<http://www.kasuga-healthy-life.net/ロータリーの思い/四つのテストとビジネスの繁栄/>

■幹事報告

深見礼子幹事より4点報告がありました。

- ① 次回例会8/9はガバナー補佐訪問日です。
- ② 北RCの事務所移転について
- ③ ロータリーの友の見所紹介 メールにて
- ④ ロータリーバッジは必ずつけること

■委員会報告

4名の委員長より今年度の抱負が語られました

1. 加藤晴美受付ニコボックス委員長



■誕生日祝福

8月は6名の方が誕生月です。

8/13 荒山久美さん 8/15 綿貫達雄さん
8/17 加藤晴美さん 8/19 藤谷猛さん
8/28 野田陽子さん 8/31 深見礼子さん

■卓話

新人会員自己紹介

スピーカー: 矢口隆明さん

2. 鬼頭容子出席管理委員長



3. 沖知也職業奉仕・社会奉仕委員長



4. 安井忠クラブ戦略委員長

